

◎詳しい内容は各施設等へお問い合わせください。

自然体験交流センター「せせらぎ」

TEL FAX 62・6667

童謡・唱歌教室生徒募集

健康づくり、生きがいのために、みんなで一緒に歌いませんか。

- 日 時 毎月第2・4火曜日 午前10時30分～11時30分(初回は2月9日)
- 場 所 「せせらぎ」学習室
- 講 師 福澤 恵子さん
- 受講料 1,000円(1カ月)、別途歌集代1,000円位
- 申し込み 電話、FAX、または直接施設で申し込んでください。(氏名・住所・電話番号をお伝えください)申し込みは随時受け付けます。
- ・定休日：毎週月曜日(月曜日が祝日の時は火曜日)
- ・開館時間：午前10時～午後4時

田淵行男記念館の臨時休館

TEL FAX 72・9964

1月21日(木)～29日(金)は臨時休館します。

豊科郷土博物館

TEL FAX 72・5672

第55回友の会書芸展

「初春を祝う書」をテーマに、新年にふさわしい大型の作品を展示します。

- 会 期 1月27日(水)～2月14日(日)
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで、月曜休館)
- 入館料 大人100円、小中学生50円(団体割引有)

第1回安曇野歴史散歩

「ドキ・どき・土器のお話(1)」と題し、土器の発明、縄文土器と弥生土器について、館職員が案内します。

- 日 時 1月30日(土) 午後1時30分～
- 会 場 博物館2階学習室
- 定 員 30人
- 受講料 無料(入館料が必要)
- 申し込み 前日までに電話でお申し込みください。

穂高交流学習センター「みらい」

TEL 81・3111 FAX 82・0966

たてかわだんけい 立川談慶

- 1988年 3月 慶應義塾大学経済学部卒業。
- 1988年 4月 株式会社ワコールへ入社。
- 1991年 4月 同社を退社。
- 1991年 5月 立川談志18番目の弟子として入門、前座名・「立川ワコール」。
- 2000年12月 二つ目昇進。談志により、「立川談慶」と命名される。
- 2005年 4月 真打昇進。



立川談慶・松山うめ吉  
江戸の情緒を安曇野に  
～落語、三味線、小唄に端唄～

- 日 時 3月20日(土)  
開場：午後0時30分  
開演：午後1時30分(午後3時終演予定)
- 場 所 「みらい」多目的交流ホール
- 入場料 2,000円(全席指定)
- 出 演 立川 談慶(落語家)  
松山 うめ吉(俗曲師)
- チケットの取り扱い  
1月23日(土)午前9時～  
「みらい」受付カウンターにて発売開始  
※電話予約もOK・未就学児の入場はできません。



ひやま 松山うめ吉

国立劇場寄席囃子研修生を経て、落語芸術協会にお囃子連として入会。松山さくらに端唄・俗曲を師事。2000年、俗曲師「松山うめ吉」として一本立ちし、寄席での俗曲師としての活動の他、国内外で江戸情緒薫る新時代の三味線アーティストとして幅広い活動を展開。2006年にはテキサス、ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ、LA、2008年にはハワイ、2009年にはウィーンで公演。

ハロミーヤ!!! in 安曇野

～ユカイな打楽器3人組みがやってくる!～

- 日 時 3月27日(土)  
開場：午後1時  
開演：午後2時(午後4時終演予定)
- 場 所 「みらい」多目的交流ホール
- 入場料 1,000円(全席指定)
- 出 演 林 瑞穂、大家 一将、篠田 浩美
- チケットの取り扱い  
1月24日(日)午前9時～  
「みらい」受付カウンターにて発売開始  
※電話予約もOK・未就学児は膝上1人まで入場可。(座席が必要な場合はチケットが必要です)

パーカッションユニット  
HARROMI-YAH!!! (ハロミーヤ!!!)

東京芸術大学打楽器科の学生時に出会った「ハ」林瑞穂、「ロミ」篠田浩美、「ーヤ」大家一将による打楽器ユニット。2007年同大学の学祭をきっかけに結成。奇抜な衣装と、見て楽しめるアクションを取り入れた、独特な演奏スタイルが特徴。ワンマンライブやおよこコンサート、学校公演など精力的に活動中。2009年6月にはメンバーゆかりの地である松本市でも公演。今回の公演では参加型もあるのでお楽しみに★



地域を切り開いた先人に学ぶ

12/8 市区長会主催講演会

市区長会主催の講演会が12月8日、穂高交流学習センター「みらい」で開かれました。

3回目となる今回は、地域づくりの歴史について理解を深めるために、地域史研究家の中島博昭さん(穂高柏原)を招き、「安曇野を築いた人々」と題した講演が行われました。

中島さんは、拾ヶ堰開削の話などを紹介し、「先人たちのたくましさ、エネルギーを安曇野に感じる。ぜひ後世に伝えたい」と郷土への思いを語りました。講演終盤には、松沢求策を歌ったウクレレの弾き語りも披露され、和やかな雰囲気の中、参加者は、安曇野を築いた先人たちの偉業に思いをはせていました。

このまちの誰かのために

12/25～12/30 市消防団が年末警戒を実施



光城山で新年を祝う

1/1 元旦光城山登山

安曇野の里山・東山プロジェクト(矢花晃弘リーダー)は1月1日、光城山の魅力を多くの人に知ってもらおうと、元旦登山を開催しました。この日は市内外から170人が参加。うっすらと積もった雪の上を1時間ほどかけて歩き、山頂を目指しました。家族で参加した女性(堀金鳥川)は、「お正月からすがすがしいスタートを切ることができた。元旦から準備に携わっていただいたボランティアの皆さんのおかげです」と感謝していました。



人の動きが激しくなり、空気も乾燥する年の瀬。市消防団(丸山一雄団長)は12月25日から30日まで、年末警戒を実施しました。25日には5つの総合支所で巡視激励が行われ、5日間の警戒がスタートしました。

市消防団の団員数は年々減少傾向にあり、多くの分団が定員に達していない状況です。私たちの地域を守るばかりでなく、つながりの場、活躍の場でもある消防団。団員を随時募集しています。詳しくは危機管理室(TEL72・6769)まで。

